

玉永寺通信

2005.10

第27号

発行：富山市水橋小出 52 玉永寺

編集：石川正穂



6月3日～5日 推進員養成講座 後期教習参加者一同

報恩講

宗祖親鸞聖人に遇う

十月二十日 日中 午後一時

二十一日 晨朝 午前十時

日中 午後一時半

法話 明源寺住職 辻 俊明師

法縁寺住職 稲垣一映師

追記

二十日朝九時半より

仏教婦人会が開催されます

お誘いあわせお参りください

住職雑感

「親鸞聖人は、やはり偉い人だったの
でしょうね。」と、ある人が先生に尋ね
た。すると先生は「親鸞聖人は偉い人
ではありません。尊い方です。」と答え
られたそうです。

尊い方と偉い人とは違います。いく
ら偉い人でも必ずしも尊い方とはいえ
ない場合があります。反対に名は知ら
れなくても本当に尊い方がいます。

私は住職になって46年、多くの尊い
方に出会ってきました。その人たちは
谷間の百合のように、誰にも知られず
散っていった人たちです。

親鸞聖人は法然上人の「浄土宗の人
は愚者になりて往生す」の言葉を大切
にし、自ら「愚禿釋親鸞」と名告つての
生涯を歩んでいかれたことを忘れては
ならないと、私は思っています。

なぜなら、偉くなれとの言葉ばかり
聞く今日だから。

玉永寺日誌

2月28日



初お講が勤まりました。大切な行事を
んばって支えて下さっている小出・館・平
塚・桜木の女性陣の面々です。美味しいお
齋をいつもありがとうございます。お講は
当番制で、3月（清水堂）、5月（田伏・安
田）、10月（青出）、11月（小出）と勤ま
ります。

6月3日～5日

推進員養成講座の後期講習が本山で開か
れました。聞法に勤しむ人材を養成する
という趣旨で、地元の寺院を会場にして5回
の講座が開かれ、今回は2泊3日の奉仕団
に参加するというものでした。玉永寺から
は、40代を中心に8人の方々、そして私が
参加し、座談会や奉仕活動に勤しんで参り
ました。写真は修復中の御影堂屋根瓦を洗
う奉仕活動をしているものです。推進員と
しての活動、今後ともよろしく願いま
す。



子ども会のお知らせ

7がつ9か とうようび
8じから9じ
ぎょくえいじで あそびましょう!



先月は「でづくりオモチャ」。不思議なかざぐるまをつくりました。時間がかったけど、けっこうおもしろかったね。
さて今月は、「イメージゲーム大会」。人数がおおいとおもしろいから、近くのともだちもさそってみてください。まってるよお!

毎月第2土曜日に行っている子ども会のご案内です。少子化が進んでメンバーが13人になってしまいました。地域活動やスポーツ活動に押されて存続が危ぶまれていたのですが、毎月、写真入のご案内を郵送することをはじめましたら、出席率が上がりました。工夫次第でなんとかなるものだと一息ついていきます。

なお、12月3日10時から恒例の「2005年さようならとかんしゃの集い」を開催し、子どもたちと老人クラブとの交流会を開く予定ですが、今回は大道芸人のパフォーマンスを楽しみます。ご門徒のみなさんも、ぜひ、遊びにいらしてください。

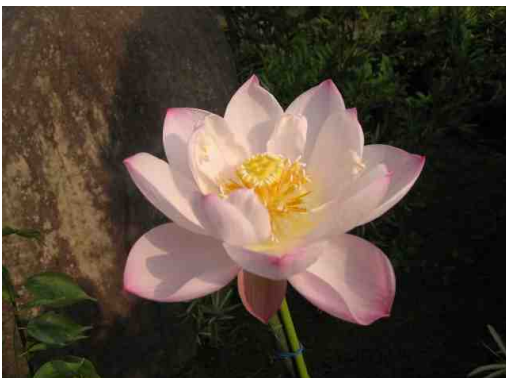
8月15日 16日

暁天講座がありました。中村寅雄氏「浄土真宗」、春秋賛氏「汝みずからまさに知るべし」の講題で法話をいただきました。今年も盛況でしたが、思いがけない方が何人かおいでになって、とてもうれしかったです。(正穂)



同朋の会 日程変更のお知らせ

これまで28日の昼に開いていた同朋の会を、8月からお勤めの方の参加を配慮して毎月27日の夜7時から9時に変更して開催しています。今年いっぱい「和讃」を読んでいます。来年からはテキストも変更して、再出発いたします。私たちの先祖たちが伝えてくださったお念仏の教えとはどういうものなのか、あらためて、ともに学び、話し合う機会です。ぜひとも皆さん、お気軽にご参加ください。



泥沼に咲く蓮の花

その姿に優しさや愛しさを感じます 願いがかない

境内に一輪咲きました 千穂子



住職から

真宗本廟(東本願寺)御影堂瓦葺き替え工事を見学しながら、親鸞聖人の足跡を訪ねる参拝旅行を明年に計画しています。ご縁のある方はぜひご参加ください。日程が決まり次第ご案内します。

本山の宗議会選挙があり、辞退していましたが、あと一期出てほしいとの要望があり、勤めることになりました。どうかよろしくお願いします。

次第に朝夕寒さが増してきます。皆さんのご自愛を念じます。

編集後記

9月14・15日に草津にある国立療養所栗生楽泉園に行ってきました。ハンセン病元患者の236人の方々がここで生活していらっしゃいます。園内には浴場があり、私もいつしよに温泉を楽しんできました。ここには富山出身の方も5人いらっしゃるので、差別と偏見のために、なかなか里帰りが実現しません。なんとかお力になりたいと思っています。

玉永寺通信

発行所 富山市水橋小出五二

真宗大谷派玉永寺

TEL 076(478)0846

インターネットホームページ

<http://www.ctt.ne.jp/~gyoku/>